








〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション	
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ
H19/2~H24/6	HM1系 HM2系	純正ラジオ付	2D		×	KJ-H35DE①		5,500円	注5,7,11	◎ 注10	◎	
			2D		×	KJ-H32D II②		5,000円	注5,8,11	◎ 注10	◎	
		純正ラジオなし	2D		×	KJ-H37DE③		6,000円	注6,9	◎	◎	




- (注5) 取付キットに同梱のサイドブラケットと純正ブラケットを共締めして取付けます。なお、共締めする際、ステレオ本体に付属のネジでは長さが届かない場合がありますが、その場合は取付キットに付属のネジなど (M5×8またはφ5×10タッピングネジ) を取付けるステレオに応じて使用します。但し、一部のステレオ本体には特定 (長さやサイズなどが異なる) の取付ネジを使用するものがあり、その場合に長さ不足で届かない場合には、別途ネジを用意する必要があります。なお、使用するネジがステレオ本体およびその取付説明書に指定された長さ以上に入りすぎてしまうと、ステレオ本体の故障の原因になりますので、その場合は、適切な長さのネジを用意していただくか、別途ワッシャーなどで調整して取付ける必要があります。
- (注6) 取付キットに同梱のサイドブラケットと車種専用ブラケットを共締めして取付けます。共締めする際、ステレオ本体に付属のネジでは長さが届かない場合がありますが、その場合は取付キットに付属のネジなど (M5×8またはφ5×10タッピングネジ) を取付けるステレオに応じて使用します。但し、一部のステレオ本体には特定 (長さやサイズなどが異なる) の取付ネジを使用するものがあり、その場合に長さ不足で届かない場合には、別途ネジを用意する必要があります。なお、使用するネジがステレオ本体およびその取付説明書に指定された長さ以上に入りすぎてしまうと、ステレオ本体の故障の原因になりますので、その場合は、適切な長さのネジを用意していただくか、別途ワッシャーなどで調整して取付ける必要があります。
- (注7) 車両側アンテナコネクタ (角型2P) との接続に「サブフィーダーキット」(ディーラーオプションのアンテナ変換コード) を使用していない車両の場合には、KJ-H35DE①に付属のアンテナ変換コネクタを使用して接続します。
- (注8) 車両側アンテナコネクタ (角型2P) との接続に「サブフィーダーキット」(ディーラーオプションのアンテナ変換コード) を使用している車両の場合には、サブフィーダーキットをそのまま使用して接続が可能ですので、アンテナ変換コネクタが付属されていないKJ-H32D II②が適用可能です。
- (注9) 車両のアンテナコネクタが角型の2Pタイプのため、取付キットに同梱のアンテナ変換コネクタを使用します。
- (注10) 1D+1D取付けで下段側の1Dサイズに純正ブラケットを取付ける場合は、純正ブラケットのT-3番穴が下方に5mmずれているため、BKTの穴を上方に5mm掘る加工が必要となります。
- (注11) メーカーオプションのバックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー付車 (H22/8追加設定) は未調査で取付可否不明 (取付可であったとしても、バックモニターは使用不可になります)。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源 (ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33 (2,000円、税別) を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V IIⓈ (12,000円、税別) がシート取付ボルト部に取付可能です (車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V IIⓈ付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) … KW-27V IIⓈは、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ			サテライト		
			TS-V173S	TS-C1730S C1730	TS-F1740S F1740	TS-C1630S C1630	TS-F1640S F1640	TS-F1040S F1040				TS-X480G X380	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510	
ワゴン	Fドア		×	×	×	×	×	◎④						×	×	◎②	◎②	○⑥	○⑤	○⑤		
	荷室側面	⑦	×	×	×	×	×			③			×	×	×			リアピラー部 トリム	リアピラー部 トリム	リアピラー部 トリム		

注記  
 ② 純正位置に付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを取付ける。純正ブラケットの取付穴が完全に塞げず、四方向に隙間があく。TS-E1076はトウィーターがグリル側に少し当たる（取付けは可）。  
 ③ トリム表面からの汎用取付けは、荷室サイドトリムが一体成型トリムでグリルスペース/穴スペースが不可のため取付不可。  
 ④ 純正ブラケットの取付穴が完全に塞げず、周囲に隙間があきます。また、取付けは2点止めになります。  
 ⑤ リアピラー部はトリムの取付強度が弱いため不可で、リアサイドウインドーの上方に取付け可。  
 ⑥ 取付位置はリアサイドウインドーの上方位置で、リブを避けてブラケットを取付ければ、前方～後方の広い範囲に取付け可。  
 ⑦ 純正ディーラーオプションの「4×6インチボックス型リアスピーカー」付車は未調査ですが、純正スピーカーは4×6インチサイズのためスピーカーの取付けは不可と思われます。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	☒	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	☒	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
⊖	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可（別売の「スペーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スペーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスペーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスペーサー使用で、鉄板加工が必要）	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。